



～礼儀と節度を考える～

平成武師道

〈人間活動学〉

『青春』

人間、歳を取ると若い時の事を思い出す
特に思春期だった頃

何かを探している自分
何をしたいのか
何になりたいのか
一体どうしたいのだ

焦る気持ちとは裏腹に
一步前に踏み出せない
時間だけが無駄に流れていく
こんな所で立ち留まっているのは嫌だ

楽しい事を見つけない
何でもいいから暴れたい
思い切り溜まったエネルギーを吐き出したい
もっともっと変りたい

退屈な日々から抜け出して
色々新しいものに出会いたい
いつの間にか心も体も変わりだしていた
しかしそれには気付いていない

大人の階段を登ろうともがいていた
どうせ誰もわかってくれない
勝手にそう思い込んでいた
結局何もしようとしな

それでもグダグダ考えているのが面倒になった
とにかく何でもいいからやってみるか
どうせまだ学生なのだから
先の事なんて考えるより今を楽しもう

自転車に乗って遠くの町まで探検だ
途中、竹やぶの道に落ちていたエロ本
ドロドロに汚れていてページがくっついて離れない
それでもドキドキしながら拾った宝物



好きな女の子に声を掛けてみたい
声を掛けたくても掛ける事ができない
掛ける勇気などありゃしない
今では何て事ないのにね

それでも振り返るとまんざら悪くない
けっこう馬鹿な事をしてきたが
それはそれで良かったみたい
どんな結果になっても、それは経験

悩んだり苦しんだり
笑ったり泣いたり
初めて知った事ばかり
若い時にしかできなかった経験

あの頃の気持ちを忘れたくない
あの頃の気持ちを忘れてはいけない
もう二度と帰って来ない時間
“青春”

それでも今から
それでもここから
いつまでも“青春”
死ぬまで“青春”

もっと人生を謳歌しよう
何たって自分の人生なのだから
“青春”を忘れるのも自分の心
“青春”を作るのも自分の心

